

02

volume

超初心者でもわかる
ロゴデータ活用



ロゴマーケット

2022年 7月版

01 トピック ロゴの活用とは

ロゴマークは作って終わりではなく、うまく活用することで力を発揮します。企業やブランドの認知を広め、「信頼」や「安心」へ繋げていきましょう！名刺や封筒などビジネスシーンの活用はもちろん、グッズ展開やノベルティなど、アイデア次第でその可能性は無限大です。

Check Point! ブランドイメージをしっかりと意識して、一貫性のあるアイテムを作成することが重要です。

02 トピック 納品データ

ロゴ制作が無事に完了すると、デザイナーからロゴデータが納品されます。必要なデータを見極めるためにも、データの特徴をしっかりと理解しておきましょう。

納品される代表的なデータ

	Ai(エーアイ)データ	→ 3ページ
	PDF(ピーディーエフ)	→ 4ページ
	JPG(ジェイペグ)	→ 5ページ
	PNG(ピング)	→ 6ページ
	EPS(イーピーエス)データ	→ 7ページ
	GIF(ジフ、ギフト)	→ 8ページ

03 トピック ロゴを使った「オリジナルアイテム」

実際に活用できるアイテムと、そのアイテムに必要なデータの種類のページから確認していきましょう。下のアイテム例以外にも活用手段は様々です。



名刺



封筒



ウェブサイト



看板



オリジナルキャップ



オリジナルウェア



ショッピングバッグ



マグカップ



カーグラフィック

ワンポイントQ&A



Q. 名刺やグッズはどこで作れるの？

A. 印刷会社や業者さんへ委託制作できます。データ作成が必要だったり、発注自体お任せしたい場合はデザイナーさんに相談してみましょう。



- ロゴを作って終わりではなく、様々な形で活用できる
- 名刺やグッズ、ノベルティを作成することでブランド価値を上げられる



Ai(エーアイ)データ

ファイル：〇〇.ai

必要度：★★★★★

主な用途

ロゴマーク	名刺・カード	チラシ・パンフ	封筒	書類	WEB
ノベルティ	看板	図形	イラスト	写真・画像	アニメーション

Adobe社のIllustratorというソフトで作成されたデータ形式です。イラレデータ、ネイティブデータとも呼ばれます。クリエイティブ職や、印刷会社などで使われるソフトのため一般的ではありませんが、様々なデザインの制作に使用されています。

- ✔ **デザインの作成・編集ができるソフトのデータ形式**
ファイルを展開するにはIllustratorソフト(有料)が必要です。
- ✔ **データを劣化させず、拡大・縮小や変形ができる**
ベクターデータといい、自由に編集が可能です。
- ✔ **印刷やグッズなどを依頼する際に必要となる**
Aiデータは、おおもとなるデータのため、印刷会社や制作会社などへ依頼する際、求められることが多くなります。

データを扱う際のデメリットや注意点

- ✘ Adobe Illustrator以外のソフトでは基本的に開くことができない
- ✘ ソフトのバージョンや環境によって、正しく表示されない場合がある
- ✘ データ作成時に正しい処理を行わないと、表示されない場合がある



PDF(ピーディーエフ)

ファイル：〇〇.pdf

必要度：★★★★★

主な用途

ロゴマーク	名刺・カード	チラシ・パンフ	封筒	書類	WEB
ノベルティ	看板	図形	イラスト	写真・画像	アニメーション

紙に印刷した時と同じ状態を保存した「電子的な書類」で、広く一般的に使われている電子文書のファイル形式です。デザインの確認や入稿によく使用されます。ほぼ全てのパソコンで閲覧できるので、データの配布や受け渡し、紙の代用としての書類保存など、ペーパーレス化にも活躍しています。

- ✔ **パスワードや制限などのセキュリティ設定も可能**
閲覧制限 / 印刷や編集、コピーの制限 / PDFの暗号化が可能です。
- ✔ **元データより小さいサイズに圧縮することができる**
- ✔ **紙と同じようにコメントやハイライトも編集できる**
- ✔ **ワードやエクセルなど別のソフトからでも作成が可能**
保存の際にPDFを選べば簡単にPDFファイルが作成できます。

データを扱う際のデメリットや注意点

- ✘ PDFの新規作成、編集するためにはAdobe Acrobat(有料)が必要
- ✘ PDFに対応していないフォントを使用した場合、レイアウトが崩れる
- ✘ ブラウザによっては、PDFの表示が異なる場合がある



JPG(ジエイペグ)

ファイル: OO.jpg / OO.jpeg

必要度: ★★★★★



デジカメやスマートフォンの写真データなどに広く使われている、一般的な画像データ形式です。
写真をプリントするならJPG形式で保存した方がきれいに仕上げる事ができます。
ピクセルやドットと呼ばれる粒子の集まりによって、画像を表示しています。

- ✓ **繊細なグラデーションや色数の多い画像に適している**
フルカラー1,677万色で表現できるため、写真などに向いています。
- ✓ **画像データを軽容量・高画質で保存できる**
見えない色をカットし圧縮することで、高画質のまま保存できます。
- ✓ **汎用性が高い**
どのデバイスでも扱うことができる上、様々な画像編集ソフトに対応しているので画像編集も簡単に行えます。

データを扱う際のデメリットや注意点

- ✗ Adobe Illustrator以外のソフトでは基本的に開くことができない
- ✗ 透明色や透過表現を表示できない
- ✗ イラストなど色と色の境界線にノイズが出てしまうことがある



PNG(ピング)

ファイル: OO.png

必要度: ★★★★★



PNGには、「PNG-8」と「PNG-24」という2つの種類があります。
「PNG-24」の方が、より滑らかで美しい画像を表示することができますが、その分サイズが大きくなります。
ロゴを始めとしたグラフィックを保存する形式としてよく利用されています。

- ✓ **透過処理ができる**
背景を透過したり、グラデーション表現を作ることができます。
- ✓ **画像を劣化させることなく圧縮できる**
圧縮を繰り返しても画質が落ちず、圧縮後も元に戻すことができます。
- ✓ **シンプルな画像やグラフィックデザインに向いている**
制作する画像や用途に応じて、PNGの色数を選択できるため、ロゴなどシンプルな画像はファイルサイズを軽くできます。

データを扱う際のデメリットや注意点

- ✗ リサイズや上書き保存を繰り返すほど、ファイルのサイズが大きくなる
- ✗ インターネットでの使用を目的とした拡張子のため、印刷には不向き
- ✗ 色が多い写真などは画質が高くなるので、重くなってしまふ



EPS(イーピーエス)データ

ファイル: OO.eps

必要度: ★★☆☆☆

主な用途

ロゴマーク	名刺・カード	チラシ・パンフ	封筒	書類	WEB
ノベルティ	看板	図形	イラスト	写真・画像	アニメーション

Adobe Illustratorや、Adobe Photoshopをはじめとした様々なグラフィックソフトで開くことができる画像ファイル形式です。
多くの場合は業務用の高品質画像の印刷に必要とされますが、印刷会社の中には、EPSデータでの納品を推奨するところもあります。

- ✓ **画像を劣化させることなく拡大・縮小できる**
ベクターデータの情報を持っているため、印刷に向いています。
- ✓ **互換性が高く、様々なソフトでファイルを展開できる**
Adobe Illustrator、Adobe Photoshopがよく使われます。
- ✓ **作業時は軽く、印刷時は高解像度で使い分けができる**
EPSファイルは、画面表示用の低解像度データ(ビットマップ)と印刷用の高解像度データ(ベクター)の2つの情報を併せ持っています。

データを扱う際のデメリットや注意点

- ✗ EPSファイルを開くには、対応しているソフトが必要になる
- ✗ 一部のデザイン効果を保持したまま保存できない
- ✗ 再編集に不向きなため、ネイティブ形式のデータ利用が増えている



GIF(ジフ、ギフ)

ファイル: OO.gif

必要度: ★☆☆☆☆

主な用途

ロゴマーク	名刺・カード	チラシ・パンフ	封筒	書類	WEB
ノベルティ	看板	図形	イラスト	写真・画像	アニメーション

主にウェブサイトページ制作に使用される画像データ形式です。
最大256色の限られた色数で構成されているため、アイコンや図形などの色数が少なく、シンプルなものに適しています。
ロゴマークやボタン、動きのあるデザインによく利用されています。

- ✓ **透過処理ができる**
PNGのような調節はできませんが、指定色を透明にすることができます。
- ✓ **データサイズを小さく抑える事ができる**
最大256色構成のため、データ容量が非常に小さくなります。
- ✓ **パラパラ漫画のようなアニメーションを作成できる**
数秒のものやループするものであれば、動画よりも軽く利用するため、動きのあるボタンなどのパーツやバナーなどに利用されています。

データを扱う際のデメリットや注意点

- ✗ GIFアニメーションには、音の効果は入れられない
- ✗ ウェブサイト用に開発されたデータ形式で、印刷には適していない
- ✗ 256色しか表現できないので、複雑な写真などには向いていない

データの特徴 早見表

各データの特徴を押さえて、データを使い分けることが大切です。活用したいものや用途に合わせて、デザイナーさんにデータを納品してもらいましょう。わからない場合やデータを確認できない場合は、デザイナーさんや制作会社さんに事前に相談しておくといいですね。

対応したソフトをお持ちでない場合、実際に開くことのできないデータを納品されることがあります。後にデータに手を加える場合はもちろん、印刷や外注制作で必要になりますので、大事に保管しておきましょう。

	種類	拡張子	必要度	専用ソフト	画質	圧縮	色数	透過	印刷	WEB
	ベクター	.ai	★★★★★	必要	◎	—	—	—	○	—
	電子文書	.pdf	★★★★★	不要 (作成は必要)	◎	—	—	—	○	○
	画像	.jpg .jpeg	★★★★★	不要	◎	× (画質低下)	1670万	×	○	○
	画像	.png	★★★★★	不要	○	○	256 or 1670万	○	×	○
	画像 ベクター	.eps	★★★☆☆	必要	◎	○	—	○	○	×
	画像	.gif	★☆☆☆☆	不要	△	○	256	○	×	○